ご相談窓口のご案内

弊社商品をご購入ありがとうございます。製品の使い方相談、修理相談については下記の窓口をご利用ください。
なお、修理をご依頼される際は、「取扱説明書」に記載の「こんなときは／故障かな？と思ったら」などを一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型番（表紙右上表示）、② お買上げ日、購入店がわかるレシート、領収書等を必ずご用意下さい。
③故障、不具合状況によってはご一緒に電話口にて動作確認させていただきますので、製品を近くにご用意ください。

※出張での使い方の説明、修理はおこなっていませんので、ご了承ください。

ホームページで
製品サポート情報や、お問い合せについてご覧いただけます。
http://www.tohshoh.jp

使い方／修理相談窓口

電話 048-997-2244
FAX　048-997-2082
受付時間　月～金　9:30～17:30　休業日　土･日･祝日

cs@tohshoh.jp
株式会社とうしょう　カスタマーサービス
〒340-0802　埼玉県八潮市鶴ヶ曽根1442-1

保　証　書

※お買上げ日、購入店がわかるレシート、領収書を添付し大切に保管ください。

品 名	収納ラック付きレコードプレーヤー	型番： TS-7120
お客様	お名前	ご住所 電話番号　（　　）
お買上げ日 年　月　日		取扱販売店名・住所・電話番号
保証期間 （お買上げ日より） 本体１年 （但し消耗品は除く）		

〈無料修理規定〉

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。無料修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買い上げの販売店にお申し付けください。なお、出張修理はおこなっておりません。
2．保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。
①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
②お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷。
③火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、水害、津波等天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障及び損傷。
④異常電圧、電気の供給トラブル等に起因する故障及び損傷。
⑤用途以外で使用した場合の故障及び損傷。
⑥本書のご提示がない場合。
⑦本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
3．本書は日本国内においてのみ有効です。
4．本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

＜製品部品の保有期間＞　部品の保有期間は製品製造終了から6年間です。
※一年間は無料修理を行います。但し、お買い上げより一ケ月間が過ぎてからの修理依頼に関して、弊社への送料はお客様ご負担にてお願いします。尚、修理完了後の送料は弊社負担にて発送させていただきます。

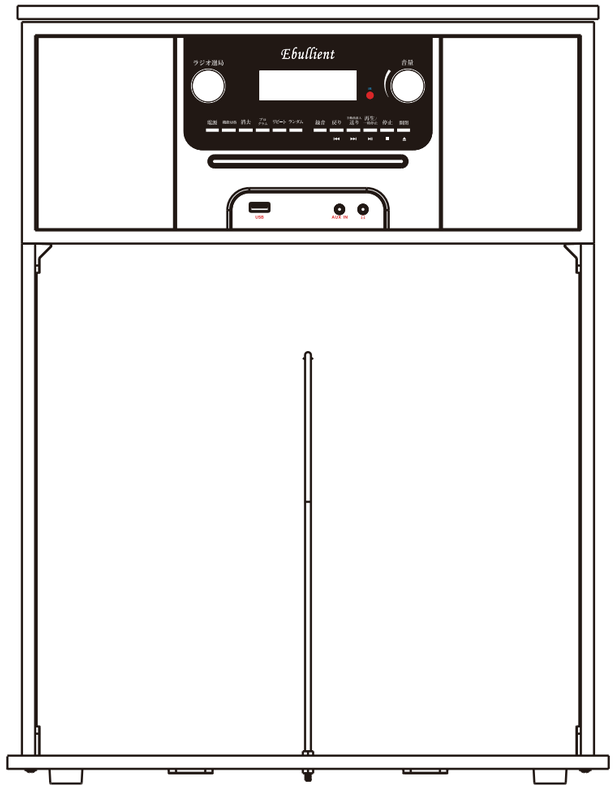
型番：TS-7120

収納ラック付き レコードプレーヤー

取扱説明書（保証書付）

ご使用前に必ずお読み下さい！

このたびは、 お買上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、 正しくお使いください。
お読みになった後は、 いつでも見られるところに必ず保存してください。
また、 正しく安全にお使いいただくため、 ご使用前に必ず
「安全上のご注意」をごらんください。



輸入元：株式会社とうしょう
住所：340-0802　埼玉県八潮市鶴ケ曽根 1442-1
カスタマサポート TEL：048-997-2244

目　次

目次／主な仕様……2
安全上のご注意……3
各部の名称……4
各部の名称／付属品……5
リモコンの各部名称／電池交換方法…6
レコードプレーヤー使用前の準備……7
レコード針の交換方法……7
レコードプレーヤーの使用方法……8
ＣＤプレーヤーの使用方法①……9
ＣＤプレーヤーの使用方法②……10
ＡＭ／ＦＭラジオの使用方法……10
ＵＳＢメモリーの使用方法……11
ＵＳＢメモリーへの録音方法①……11
ＵＳＢメモリーへの録音方法②……12
ＵＳＢに録音したデータの消去方法…13
外部入力／音声出力の使用方法……14
アンプ内蔵スピーカーとの接続方法…14
ご使用の注意……15
ご相談窓口
使い方／修理相談窓口／保証書

主な仕様

製品共通	定格入力	AC100V 50/60Hz
	消費電力	35W
	最大外形寸法(約)	幅：395 x 奥行364 x 高さ 523mm
	本体質量(約)	9.5Kg
	電源コード長(約)	1.6m
	製品材質	MDF合板/面板ABS樹脂
スピーカー	実用最大出力	5W+5W
AM／FMラジオ	受信可能周波数	ＡＭ：531～1602KHz
		ＦＭ： 76～ 108MHz
レコードプレーヤー	回転数	33-1/3 45 78rpm
	レコード針材質	サファイア （寿命:約100時間）
CDプレーヤー	駆動	ベルトドライブ 50ｄｂ
	カートリッジ	セラミック製ステレオカートリッジ
	モーター	DCサーボモーター
	再生対応ディスク	AUDIO CD、CD-R/RW
	再生対応ファイルフォーマット	MP3 64 ～ 320kbps
	対応メディア	USBメモリ(USB1.0、1.1、2.0)
USB	容量	128MB ～ 32GB
	再生対応ファイルフォーマット	MP3 64 ～ 320kbps
	録音対応ファイルフォーマット	MP3 128kbps

使用上のご注意

本機の取扱いについて

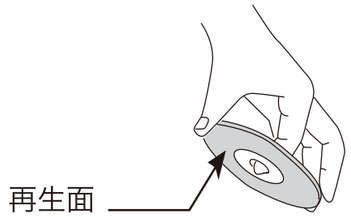
●極端な湿度、日差しの強い場所には放置しないでください。
●窓を閉めきった自動車内での放置はしないでください。

結露について

本機は冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能が発揮できなくなることがあります。このような場合は、１時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

ディスク取扱い上のご注意

●ディスクの取扱い方
・再生面には手をふれないでください。



●ディスクの保管の仕方
・直射日光の当たる場所や、温度の高い場所、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
・ディスクは必ずケースに入れて保管してください。
●本機を持ち運びするときは
・ディスクを必ず取出してください。
入れたまま持ち運びすると、ディスクに傷をつけたり、故障の原因になります。

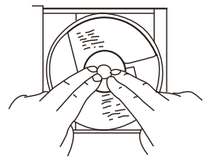
●ディスクに下記のマークの入ったものをご使用ください。

●再生中、ディスクはプレーヤー内で高速で回転しています。ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから、絶対に使用しないでください。
●CD-R/CD-RW に記録されたディスクの再生は、記録状態により再生できない場合があります。
●コピーガード付きのディスクは、再生できない場合があります。

<ケースから出すとき>
センターホルダーを押さえ

再生面に触れないように持って取り出します。

<ケースにしまうとき>
印刷面を上にして



上から押さえて入れます。

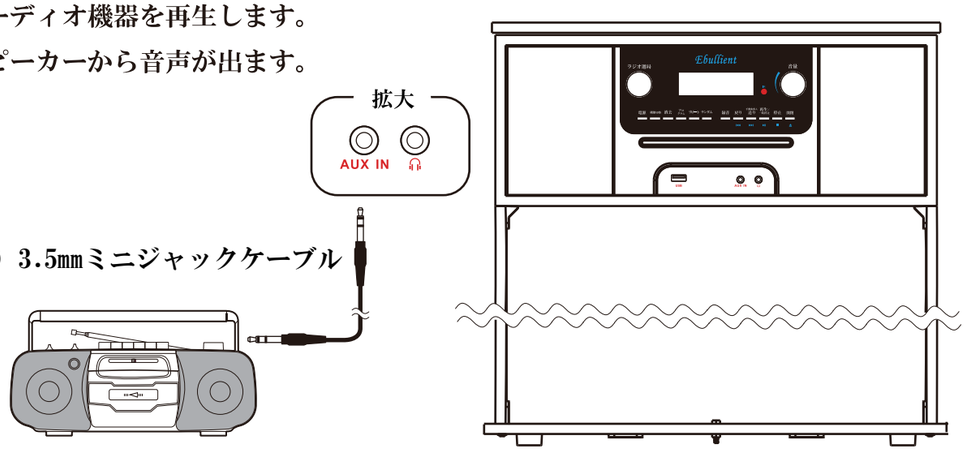
ディスク使用上の注意

●シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用クリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください、ディスクを痛める原因となります。
●再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。
●ひびやそりのあるディスクは絶対に使用しないでください。

外部入力 / 音声出力の使用方法

本機では外部入力端子を使い外部オーディオ機器の音楽を再生／また、ＵＳＢメモリーに録音することができます。

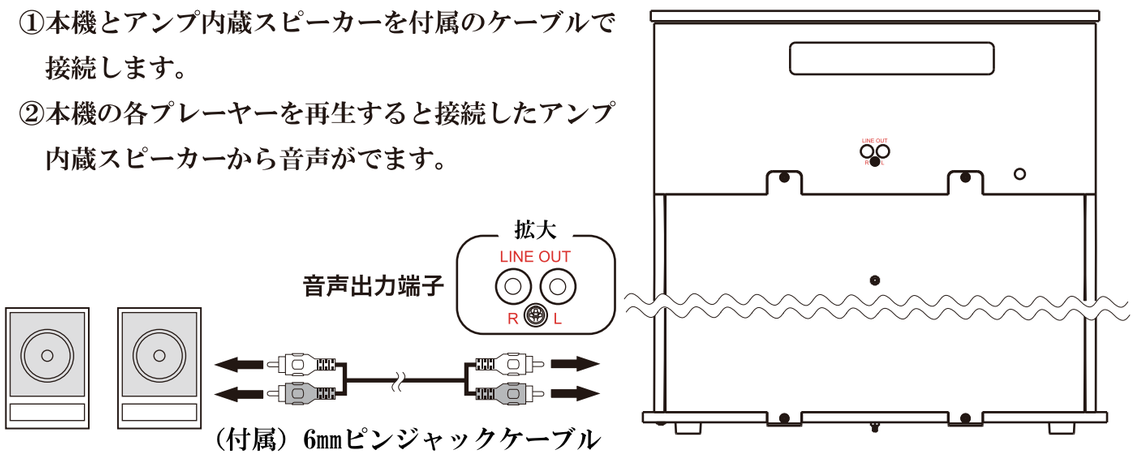
①本体 / リモコンで「ＡＵＸボタン」を押します。
②外部オーディオ機器と本機を接続します。
③外部オーディオ機器を再生します。
④本機スピーカーから音声が出ます。



アンプ内蔵スピーカーとの接続方法

アンプ内蔵スピーカーと本機背面の音声出力端子（LINE OUT）と接続します。

①本機とアンプ内蔵スピーカーを付属のケーブルで接続します。
②本機の各プレーヤーを再生すると接続したアンプ内蔵スピーカーから音声がでます。



安全上のご注意

※電気製品は、正しく取り扱うことで安全にお使いいただけます。ご使用前に次の注意事項をよくお読みになり、必ずお守りください。
※注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を示すために、「警告」と「注意」に区分しています。

【記号の意味】
△ の記号は「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。
⃠ の記号は「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。
● の記号は「しなければならない行為」を示します。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●点検・修理
万一、本体を落としたり、キャビネットを破損した場合は、点検修理を依頼してください（有料）。そのまま使用すると火災等の原因となります。

⚠ 注意

●ぐらついた台や傾いた所に置かない
落下し、ケガ・故障の原因になります。

●温度の異常に高い場所で使用しない
通風孔をふさぐと内部温度が上昇し、火災・故障の原因になることがあります。

●調理台や加湿器の付近など湿気やほこりの多い所や油煙や湯気が当たるような場所に置かない
火災・感電・故障の原因になることがあります。

●駐車中の自動車内など、高温になる場所で保管しない
樹脂部品の変形の原因になります。

●電源コードをコンセントから抜く
長期間ご使用にならない場合、安全と節電のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

●電源を切る前には音量を下げる
再度電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になります。

⚠ 警告

●100V以外禁止
交流100V以外の電圧では使用しないでください。自動車、船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・故障の原因になります。

●電源コードをコンセントから抜く
雷が近づいたら、電源プラグをコンセントを抜いてください。

●電源コードを傷つけない
破損し、火災・感電の原因になります。

●分解禁止
この機器を開けたり、改造しないでください。火災・故障の原因になります。

●禁止
CDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

●水ぬれ禁止
近くに水の入った花瓶などを置かないようにし、水がかかるような場所では使わないでください。水などが中に入った場合、火災・感電の原因になります。

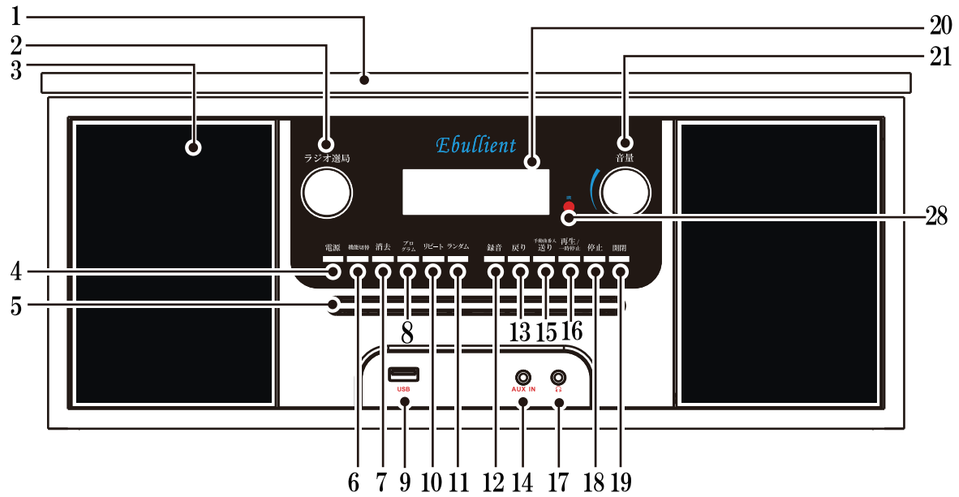
●禁止
内部に小さな金属類（ヘアピンなど）や燃えやすいものをいれないでください。火災・感電の原因となります。

●ぬれ手禁止
ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。

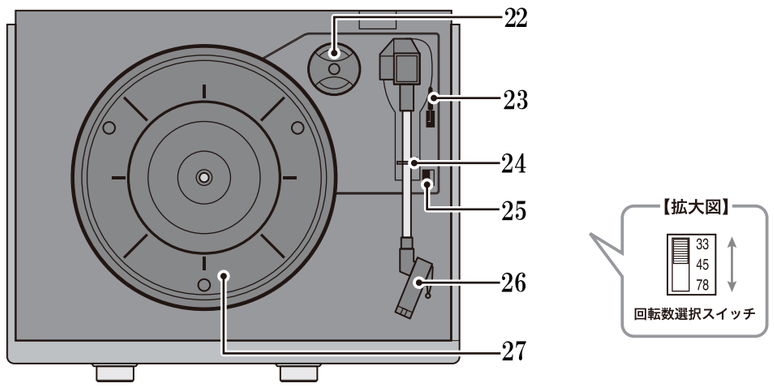
●本体の通風孔をふさがない
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となる場合があります。

各部の名称

【本体正面図】



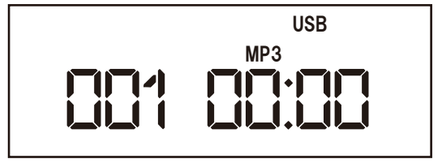
【本体上面図】

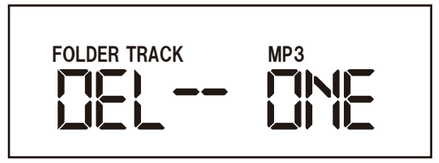


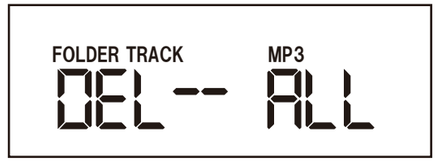
1. レコードプレーヤーフタ部
2. ラジオ選局ツマミ
3. スピーカー部
4. 電源ボタン
5. CDトレイ部
6. 機能切替ボタン
7. 消去ボタン
8. プログラムボタン
9. USB挿入口
10. リピートボタン
11. ランダムボタン
12. 録音ボタン
13. 戻りボタン
14. AUX IN(外部入力端子)
15. 手動曲番入/送りボタン
16. 再生/一時停止ボタン
17. ヘッドホン端子
18. 停止ボタン
19. CD開閉ボタン
20. 液晶表示部
21. 音量ツマミ
22. EP盤(45回転)用アダプター
23. リフトレバー
24. アームレスト
25. 回転数選択スイッチ
26. アーム
27. ターンテーブル
28. リモコン受信部

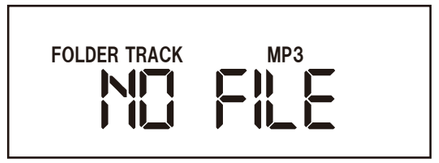
ＵＳＢに録音したデータの消去方法

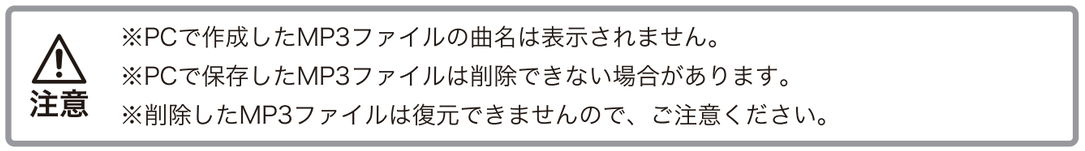
①電源プラグをコンセントに差込みます。
②「電源ボタン」を押します。(液晶が青色点灯)
③本体「機能切替ボタン」を押し「USB READ」→「NO USB」表示させます。
④USB 挿入口に USB メモリーをしっかり差込みます。
⑤自動的に再生しますので本体 / リモコンの「停止ボタン」で再生を止めます。
⑤本体 / リモコンの「消去ボタン」を押し「送り / 戻りボタン」で下記の消去を表示させます。
A「DEL--ONE」:1 曲のみ消去
B「DEL--DIR」:ファイルごと消去
C「DEL--ALL」:全曲消去
もう一度「消去ボタン」を押します。
A　例 F05 →F04　一番最後の曲が消去されます。
C　全て消去時は「NO FILE」と表示されます。
※消去した曲データの復元はできません、ご注意ください。







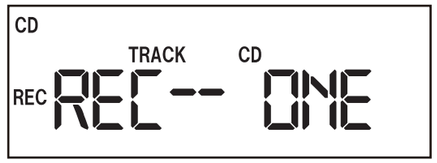


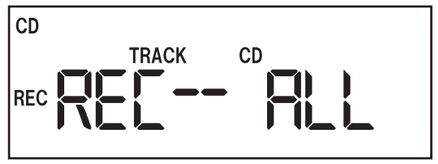


ＵＳＢメモリーへの録音方法②

■ＣＤからＵＳＢへの録音方法

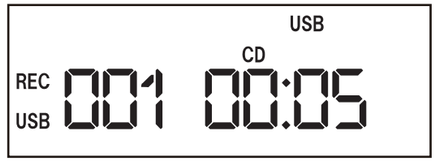
①ＣＤをセットします※セット方法は再生方法を参照。
※ＣＤのセット方法はＣＤの再生方法を参照してください。
②ＣＤに入っている曲数、分数が液晶表示されます。
③USB 挿入口に USB メモリーをしっかり差込みます。
④本体 / リモコン「録音ボタン」を押します。「REC」表示。
１曲録音時：ONE 表示、再度「録音ボタン」を押します。
全曲録音時:「送り / 戻りボタン」で ALL 表示､「録音ボタン」を押します。CHECKING 液晶表示。スピーカーから音声がでます。（録音スタート）
⑤本体「音量ツマミ」/ リモコン「音量＋－ボタン」でお好みの音量に調節します。※録音音声には影響しません。
⑥録音が終了。　②の表示に戻ります。





■外部機器からＵＳＢへの録音方法

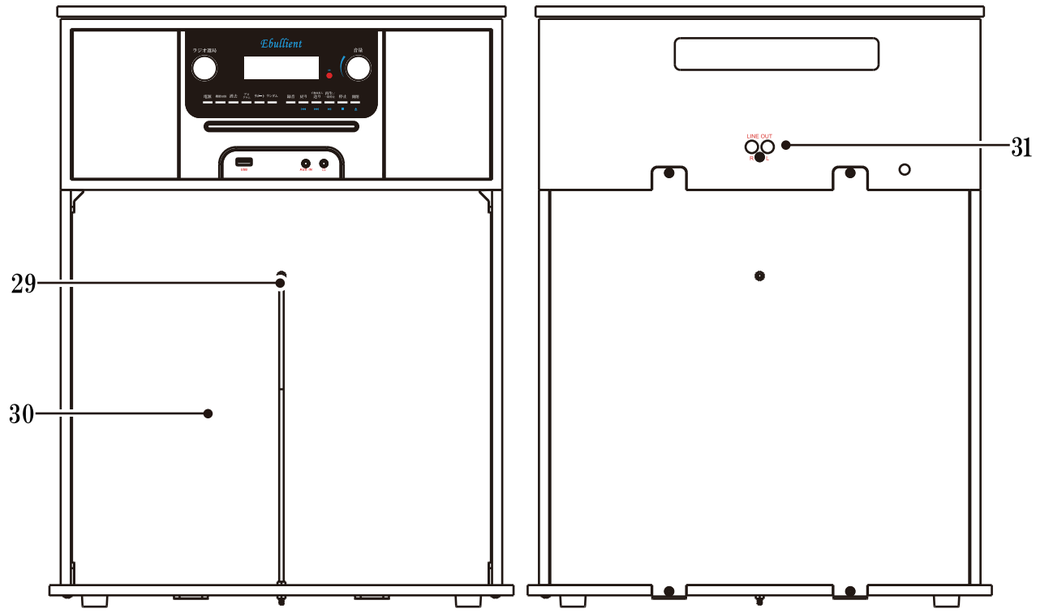
①外部機器を接続します※セット方法は再生方法を参照。
※外部機器の接続方法は外部入力／音声出力の使用方法を参照ください。
②USB 挿入口に USB メモリーをしっかり差込みます。
③外部機器を再生します。→すぐに④
④本体 / リモコン「録音ボタン」を押します。「REC」表示。
１曲録音時：ONE 表示、再度「録音ボタン」を押します。
全曲録音時:「送り / 戻りボタン」で ALL 表示､「録音ボタン」を押します。CHECKING 液晶表示。スピーカーから音声がでます。（録音スタート）
④本体「音量ツマミ」/ リモコン「音量＋－ボタン」でお好みの音量に調節します。※録音音声には影響しません。
⑥終了時、本体 / リモコン「停止ボタン」を押し録音を停止します。
⑦外部機器の再生を停止します。



⚠ 注意
ＵＳＢメモリーを抜く場合は、必ず音楽再生を停止してから抜いてください。
再生中に抜くとデータ破損になり再生出来なくなります。

各部の名称

【本体背面図】

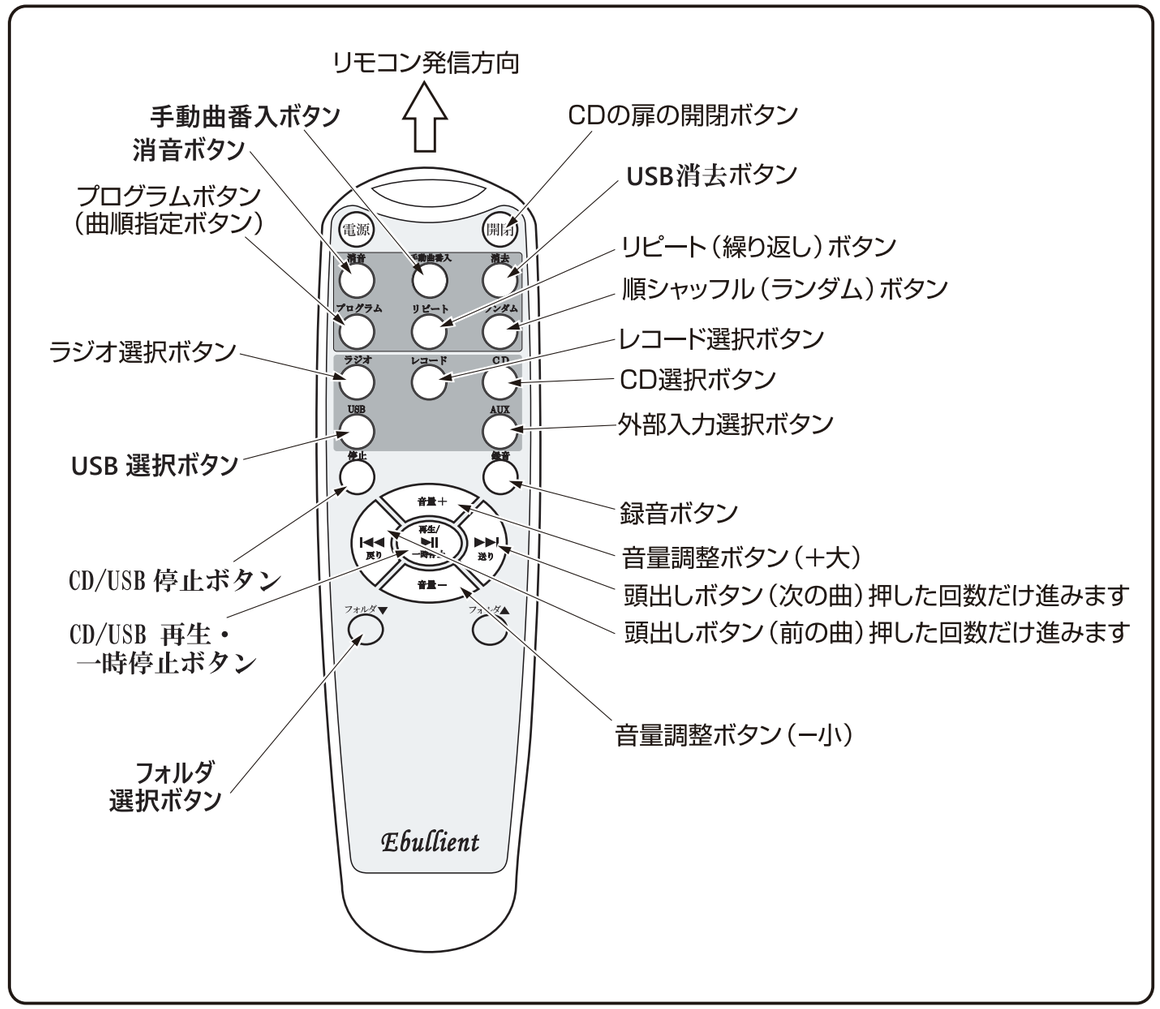


29.仕切り棒
30.収納ラック
31.外部出力（LINE OUT）

【付属品】

■リモコン（テスト用単三乾電池x2）
■取扱説明書（保証書付）
■組立用ドライバー /レンチ×2/ネジ
■EP（ドーナツ盤）用アダプター
■外部出力ケーブル（6mmピンジャック）
■仕切り棒

リモコンの各部名称／電池交換方法

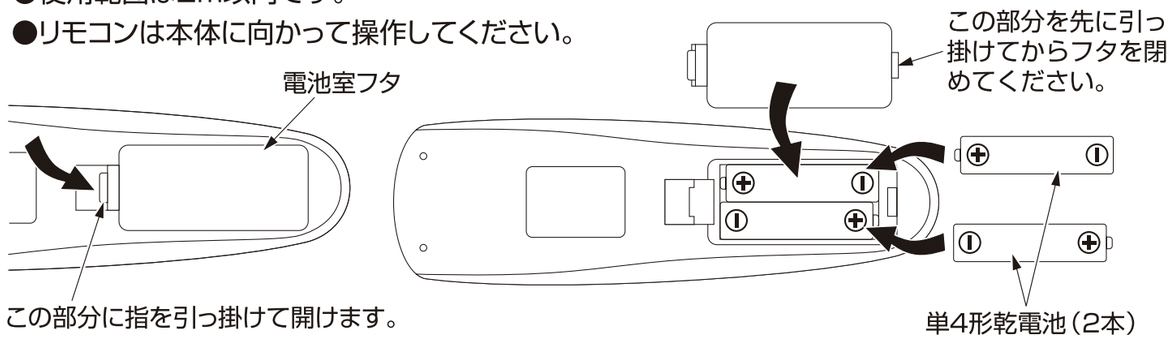


●電池交換方法（入れかた）

●2本の電池（単4電池）を入れ、フタを閉めてください。リモコンの操作がしにくくなったら、新しい電池に交換してください。＋と－の向きを正しく入れてください。付属乾電池は機能テスト用電池です。

●使用範囲は2m以内です。

●リモコンは本体に向かって操作してください。



ＵＳＢメモリーの使用方法

①電源プラグをコンセントに差込みます。

②「電源ボタン」を押します。（液晶が青色点灯）

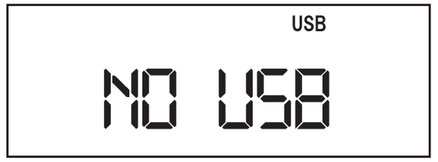
③本体「機能切替ボタン」リモコン「USB ボタン」を押します。「USB READ」→「NO USB」で液晶表示。

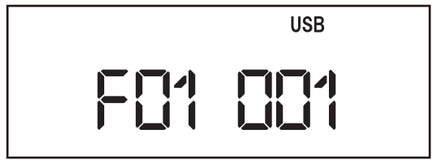
④USB 挿入口に USB メモリーをしっかり差込みます。自動で再生されます。※スピーカーから音声がでます。

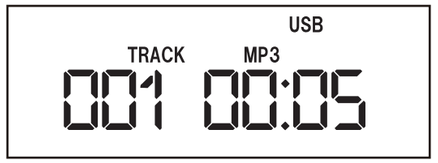
⑤本体「音量ツマミ」/ リモコン「音量＋－ボタン」でお好みの音量に調節します。

⑥本体 / リモコンの「送り・戻り」ボタンでお好みの曲を選択することもできます

※プログラム、リピート、ランダム再生も可能です。
P.9/P.10　ＣＤでの再生方法を参考にして下さい。







ＵＳＢメモリーへの録音方法①

■レコードからＵＳＢへの録音方法

①レコードをセットします　②「PHONO」液晶表示。

※レコードセット方法はレコード再生方法を参照してください。

③USB 挿入口に USB メモリーをしっかり差込みます。

④本体 / リモコン「録音ボタン」を押します。「PHON REC」表示。レコード盤に「針」をのせます。

⑤CHECKING 液晶表示。（録音スタート）

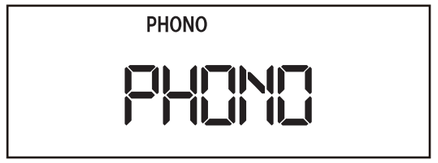
⑥本体「音量ツマミ」/ リモコン「音量＋－ボタン」でお好みの音量に調節します。

⑦本体 / リモコンの「手動曲番入ボタン」を曲と曲の間に押します。※曲番（トラック No）を付けるための機能です。（手動曲番入ボタンを押さない場合は一曲の中に録音曲が全て入ります）

⑧続けてＢ面を録音する場合 / または別のレコード盤を録音する場合は、本体 / リモコンの「再生・一時停止ボタン」で一時的に録音を停止します。Ｂ面 / 他のレコード盤をセットし、本体 / リモコンの「再生・一時停止ボタン」を押し録音を再開します。（スピーカーから音声がでます。）

⑪終了時、アームがターンテーブル中央部で止まります。本体 / リモコンの「停止ボタン」を押し録音を停止します。

⑫アームをアームレストに戻します。

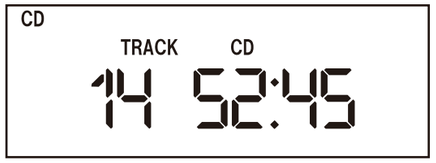


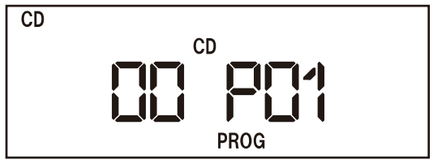
※録音中に音量ツマミを調節しても録音レベルには影響しません。

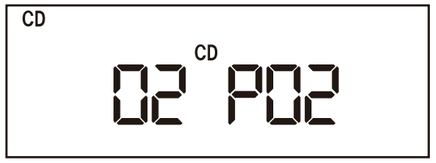
ＣＤプレーヤーの使用方法②

■プログラム再生方法

①ＣＤをセットし停止状態にします。
②本体 / リモコンで「プログラムボタン」を押します。
③本体 / リモコンの「送り・戻りボタン」でお好みの
　曲を選択し、再度「プログラムボタン」を押します。
※最大で２０曲のプログラム再生ができます。
やり直す場合は「停止ボタン」を押し停止させます。
※一度「停止ボタン」を押すとプログラム内容は消去されますので①の最初から行ってください。

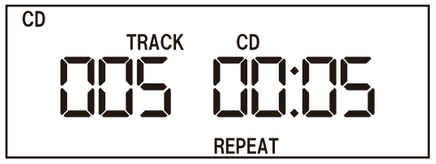


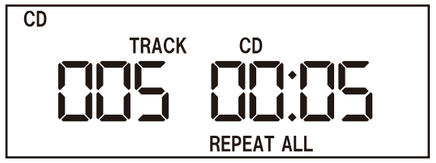




■リピート再生方法

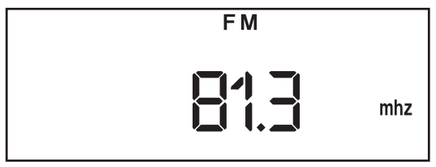
①ＣＤをセットし停止状態にします。
②本体 / リモコンで「送り・戻りボタン」でお好みの
　曲を選択し「リピートボタン」を押します。一曲のみ
　繰返し再生することができます。
③②で「リピートボタン」を２回押すとＡＬＬ表示になり
　全ての曲を繰り返し再生します。
④再生終了時には「停止ボタン」を押します。

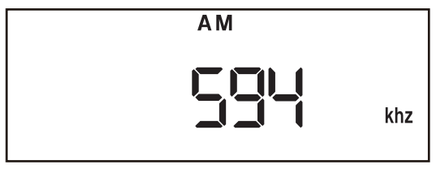




AM/FM ラジオの使用方法

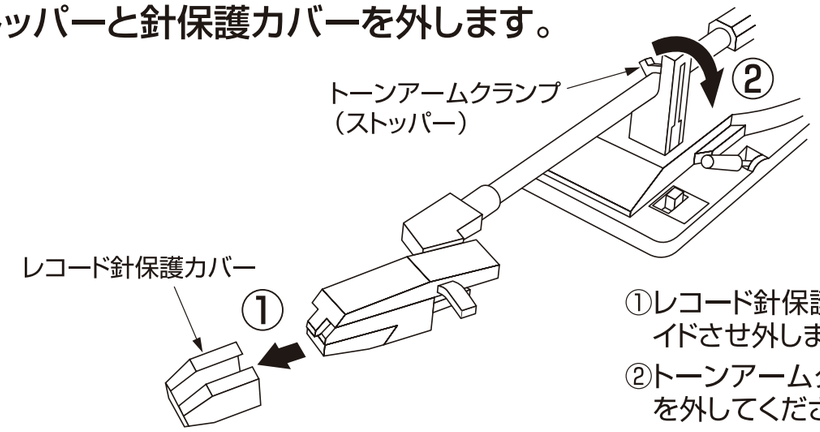
①電源プラグをコンセントに差込みます。
②「電源ボタン」を押します。（液晶が青色点灯）
③本体「機能切替ボタン」リモコン「ラジオボタン」
　を押し「ＡＭ 76.0mhz」「ＦＭ 531khz」で選択します。
④「送り / 戻りボタン」でお好みのチャンネルに調節
　します。（長押しも可能）
⑤ＦＭの場合は本体背面のコードアンテナで受信が
　が良いところに伸ばし調節します。
⑥本体「音量ツマミ」/ リモコン「音量＋－ボタン」で
　お好みの音量に調節します。





レコードプレーヤー使用前の準備

●ストッパーと針保護カバーを外します。



①レコード針保護カバーを前方にスライドさせ外します。
②トーンアームクランプ（ストッパー）を外してください。

レコード針の交換方法

○針のお手入れ

柔らかいブラシ、筆などで針先に付いたホコリやゴミを取り除いてください。
指先で行うと針先を破損する原因となります。

○針の交換

レコード針は長時間の使用により摩耗します。その様な状態で再生すると、針飛び等が起こりレコード盤を傷付ける等の問題が発生する場合がございます。本製品の場合、**約 100 時間**を目安に針を交換してください。　※使用条件によってはこれよりも短くなります。

針の抜き方

①針ホルダを持って、赤いカートリッジを矢印の方向へ下げます。

②前方へ引き抜きます。

針の入れ方

①矢印の部位を合わせるように、斜め下からカートリッジを入れます。

②クリック感のあるところまで上に引き上げます。

○交換用針のお買い求め

破損や長期使用における経年劣化、紛失等の理由でレコード針をお求めのお客様のために「交換用レコード針」を販売しております。お求めの際は下記までお問合せください。

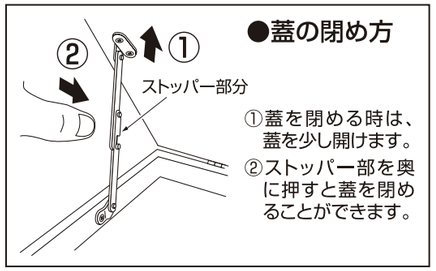
【直販サイト】https://recordplayer-tohshoh.shop/
価格（3個組セット）：3600円
品番：TO-106

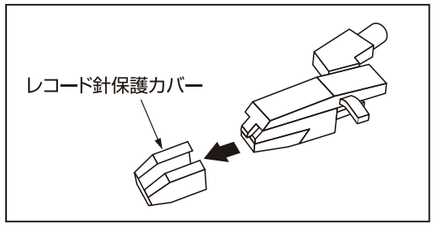
レコードプレーヤーの使用方法

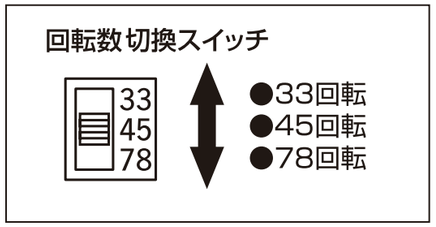
①電源プラグをコンセントに差込みます。
②「電源ボタン」を押します。（液晶が青色点灯）
③本体「機能切替ボタン」を押しＰＨＯＮＯ 表示し選択
　またはリモコンで「レコードボタン」 を押します。
④ターンテーブルの「フタ部」をゆっくり上にあげます。
　右図のストッパー部をしっかり固定します。
⑤アームレストを外します / アーム先端の「白いカバー」
　を外します。（針先保護の為に使用後は白いカバーを「針先」
　にセットし保管ください。）
⑥回転数を合わせレコード盤をのせます。
　ＥＰ盤（４５回転）の場合はアダプターをセットして
　からレコード盤をのせます。
　※リフトレバーを使用し「針」をのせることもできます。
⑦ゆっくりとアームをレコードにのせます。
　ターンテーブルが回り出しスピーカーから音声がでます。
⑧本体「音量ツマミ」/ リモコン「音量＋－ボタン」で
　お好みの音量に調節します。
⑨演奏が終了するとターンテーブルが止まります。
　アームをアームレストに戻します。
※EP 盤によっては最後の曲の途中で止まる場合があります
　機能上の為、ご了承ください。

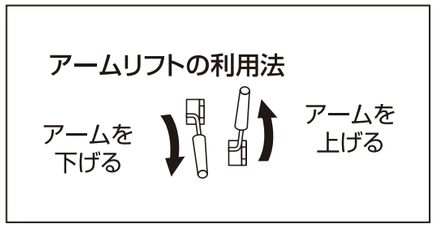
■45回転アダプタについて

ドーナツ盤等、真ん中の穴の大きなシングルレコードを再生する場合は、付属の**45回転用アダプタ**を使用してください。



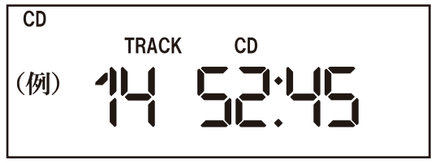






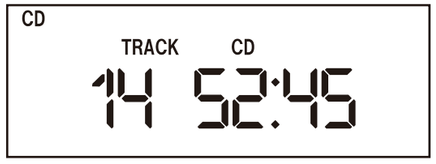
ＣＤプレーヤーの使用方法①

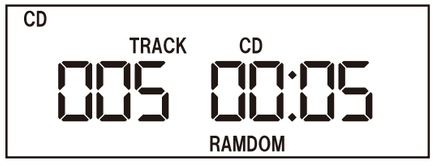
①電源プラグをコンセントに差込みます。
②「電源ボタン」を押します。（液晶が青色点灯）
③本体「機能切替ボタン」を押し CD READ 表示し選択
　またはリモコンで「ＣＤボタン」 を押します。
④本体 / リモコンで「開閉ボタン」を押します、ＣＤトレー
　が出てきます。
⑤音楽ＣＤを上下確認しセットします。
⑥本体 / リモコンで「開閉ボタン」を押しＣＤトレーを閉
　めます。　※絶対に指では押込まないでください。
⑦認識すると自動で再生、スピーカーから音声がでます。
⑧本体「音量ツマミ」/ リモコン「音量＋－ボタン」で
　お好みの音量に調節します。
⑨曲を送る場合「送りボタン」を押します。
⑩曲を戻す場合「戻りボタン」を押します。
⑪再生を止める場合「停止ボタン」を押します。
⑫一時的に再生を停止する場合「再生 / 一時停止ボタン」
　を押します。



■ランダム再生方法

①ＣＤをセットし停止状態にします。
②本体 / リモコンで「ランダムボタン」を押します。
③順不同で再生します。
④再生を止める場合は「停止ボタン」を押します。





※ＣＤ-Ｒ、ＣＤ-ＲＷ、ＵＳＢメモリーに記録されたディスクの再生は、ディスクの品質、記録状態、録音環境により再生できない場合があります。※本機のＵＳＢ端子は「ＵＳＢ3.0～」には対応しておりません。※ＵＳＢが認識されない場合、パソコンでファイルフォーマットを行ってください。※コピーガード付きのディスクは、再生できない場合があります。※本機で再生できないディスク/コピーコントロールＣＤ：本機では音楽ＣＤ規格に準じて設計されています。ＣＤ規格外ディスクの動作保証および性能保証はいたしません。※製品の仕様は性能向上等の理由から予告無く変更する場合がございます。